

日時：2016年10月22日（土）11時から12時30分

会場：東京堂ホール（東京・神保町）

運営委員出席者：井奥（兵庫）、鹿野（東京・神奈川）、中村（東京）、大音（関西）、宮本（神奈川）、渡辺（東海）、石崎（神奈川）、竹内（埼玉）、寶川（千葉）、塩見（奈良） 計10名

その他出席者：会員8名、賛同人2名、一般出席者1名

拡大運営委員会

1. 開会 司会 井奥（兵庫）
2. あいさつ 委員長 鹿野（東京・神奈川）

議事・報告

3. 2015年度活動報告 宮本（神奈川） 承認
4. 2015年度会計報告 中村（東京） 承認

議事・審議

5. 2016年度活動方針案 鹿野（東京・神奈川） 承認
 6. 2016年度予算案 鹿野（東京・神奈川） 3点修正の上、承認
- ①集会開催費を16万5千円を20万円に、②地方活動費を0円を10万円に、③予備費を新設し5万円に修正。
7. 閉会
 8. 上尾市図書館移転に関する住民投票 紹介 竹内（埼玉）

主な質問・意見

●報告事項

（質問）2015年度会計報告について

- ・実績で現金（未確認）24,237円という記載があったが、八幡浜住民投票の旅費の未請求分か。

（回答）中村（東京）

- ・急な必要があるときのために、事務局で保管している手持ちの現金なので未払いではない。

（質問）2015年度活動報告について

- ・住民投票マニュアル作成は、現在どうなっているのか？

（回答）鹿野（東京・神奈川）

- ・FB上でグループを立ち上げポイントの整理を始めたが、現在は止まっている。当初の予定としてはパワーポイントを作って住民投票の動きがあったときに紹介したり、ホームページでの公開を考えていた。ある程度

意見を集めたので、参照できるようにしておくことは意味がある。署名簿なども掲載し、もう1度実行チームを作る方針で進めたい。

(補足) 2015年度活動報告について 竹内(埼玉)

- ・埼玉県民投票の流れで原発関係の映画のリレー上映会を支援。県民投票では、直接請求に必要な署名数は集まらなかったが、地域でそれぞれ別々に活動していた人たちがまとまって活動をするようになった。例として、上尾市図書館の住民投票と上映会の支援が展開されている。

(質問) 2015年度会計報告について

- ・予算と実績が違っている項目が多いが、このあたりの分析はされているのか。

(回答) 鹿野(東京・神奈川)

- ・鹿野：集会開催費でいうと前年と今年度で実績に違いはないが、今年度は大きなイベントを3回行うという計画で予算を拡大していた。また、今年度の活動は八幡浜住民投票の応援とその報告が大きかったが、それ以外の活動が若干少なめであった。会の活動を紹介する六つ折チラシの印刷が少なかったことなども影響しているのではないかと。

(意見) 2015年度活動報告について

- ・「原発」都民投票は、署名は集まったが議会では否決された。否決に票を投じた候補には入れないというチラシを、自分で数万枚作って配布している。各地でも住民発議が議会では否決されている例が多いので、そのアフターケアという観点も大事ではないかと。

(補足) 2015年度活動報告について 渡辺(東海)

- ・東海は、毎週署名活動を行う、集会でチラシを配布するなど地道に活動を続けている。続けていないと、いい風が吹いたときにすぐ動けないので。そこに立って旗を立てることで、会でこういうことをやっていると知ってもらえる。

(補足) 2015年度活動報告について 本村(関西)

- ・8月から、自民党改憲草案と現行憲法を読み比べる勉強会をしている。知って、理解して、投票するということが「原発」国民投票と共通していると思うので、まず知るということで。原発関連は、11月に鹿児島で行われる集会とデモに参加し、会のアピールをできたらと考えている。

(質問) 2015年度活動報告について

- ・国会への請願が審議未了になった。中途半端な形なので、それをどうするのか。

(回答) 鹿野(東京・神奈川)

- ・審議未了という形ではあるが、国会の記録上は実質的には不採択に等しい。再度審議してもらうには、もう一度署名を出さないといけない。今のところ、タイミングとしていつ出すということは言えない。

(意見) 2015年度活動報告について

- ・今年は前半に勉強会が二つあり、小規模ではあってもイベントが少しずつ増えているのは評価している。地域でも本部でも、一つでもイベントが増えていくことが望ましい。12月に東京で、来年4月以降関西で、熟

議や海外での原発政策をテーマに研究者を招くイベントを計画している。また、各地での住民投票の動きに対して、何かができるような準備ができればよいのでは。

●審議事項

(説明) 2016年度活動方針案について 鹿野(東京・神奈川)

- ・昨年度の3つの活動方針を継続。今回の追加点は(2)の自己啓発や世論の喚起の内容として、「原発の是非を直接問うものだけではなく、例えば原発事故避難者が抱える問題や現状などをテーマにして、是非を考える際に判断の基礎となるような情報提供、イベント開催を行う」という点。

(質問) 2016年度予算案について

- ・地域活動費は予算でゼロとなっているが、あったほうが地域での活動がしやすくなるのではないかと。

(回答) 鹿野(東京・神奈川)

- ・地域活動費は、前回総会のときに請求することになったが実績がなかった。請求の基準は、会員の数が基準で、会員×500円。各地での状況はどうか。

(議論) 地域活動費について

- ・活動費が足りない地域、イベント等は収支が釣り合うような形で実施していて現状では請求していない地域、会員数と活動の量が一致していない地域などが見られた。
- ・イベントで収支が釣り合えばよいが、講師の旅費などでやむを得ない場合もあり、そういうときに諦めるということがないような予算措置はあったほうがよいのではないかと。
- ・地域活動費が予算ゼロでは、配分しないという意味を表明することになる。人数ではなくある程度の額を設定し、状況に応じて提供してはどうか。
- ・前もっての予定というのはなかなか立たない。予備費を設けたほうが柔軟に運営しやすいのではないかと。
- ・地域活動費は10万円とし、前年度の繰り越しの扱いや会のメンバー以外が含まれる活動への運用(会の運動方針に沿うものであるかが基準となる)など、執行については日常のスカイプ会議や地域でもしっかりと検討する。また、予備費という提案もあったので5万円ということで修正してはどうか。→承認

(意見) 2016年度予算案について

- ・年末から来年にかけてイベントを二つ予定しているので、集会開催費の予算を増額してはどうか。

(回答) 井奥(兵庫)

- ・もともと昨年度の予算が30万円であったのを、昨年度の実績から16万円にしている。来年は総会もあり、20万円に上方修正ということではどうか。→承認

(意見) 2016年度活動方針案について—今後の活動についての参加者からのコメント(抜粋)

- ・予算の減少、集会参加者が少ないのは心配。街頭活動のやり方を変えないといけないのでは。
- ・街頭活動の数が少なくなっている。今まで通りやるというのは、考えたほうがよい。
- ・地域活動費は、イベントに応じて少々赤字でもやれる方がよいのでは。

(コメント・鹿野) 地方でやるからと言って、地方扱いとも限らない。テーマにより、本部扱いとなる場合もある。

- ・事故から5年、世の中の動きに流されている。原発がらみでない住民投票もできているので、そこに焦点を

当てていると原発の事故から出てきた運動という焦点がぼやけてくる。方向性がわかりにくいなかで、本部のイベントがけん引してくれたらと思っている。

- ・都民投票の受任者だった。署名者への説明責任で、活動がどう続いているのかを知りたくて来た。国民投票という方向性をどうしていくのか。国民投票実施の壁がどういうところにあるか。

(コメント・鹿野) 一番大きな壁は、法律を作らないといけないので国会議員。議員への働きかけが必要。また、原発のテーマでいろんなイベントを行い、人の目に触れるようにする。それにより、参加する人が増えて議員へのアプローチになる。まだ遠い道のりではあるが、政治的状況は急変することもあるので、そこを見据えて地道に活動を続けていく必要がある。

- ・昨年、八幡浜へ行った。国民投票を考えていたが実現はなかなか難しく、街宣でも説明が難しいところがある。八幡浜住民投票では、民意も実現性も高かった。お金と時間との兼ね合いで大変であることは確かだが、活動方針としては原発立地への支援を中心にしたほうがいいと感じている。
- ・イベントの集客をどうしていくか。マーケティングとして人が来やすいものと考えていくことが必要。
- ・「原発」国民投票にどこまでこだわるか。原発にこだわるのか、国民投票にこだわるのか。個人的には、原発をそろそろはずしてもいいのでは。憲法の国民投票は実現する可能性が高いし、EU 離脱の国民投票も注目を集めている。国民投票にこだわりながら活動の求心力を高めてはどうか。

(コメント・鹿野) 「原発」国民投票としていただいたカンパを別の目的で使うわけにいかないので、今の会のまま衣替えすることは、これまでの資金を引き継ぐということ言えば難しい。「憲法」国民投票には反対でも、「原発」国民投票には賛同し、多額のカンパをしてくれた人もある。

- ・活動への参加を呼びかけやすくするために、月1回、2か月に1回程度の定例会を行ってはどうか。
- ・ネットを利用していない人への働きかけも、考える必要があるのでは。

※2015年度会計報告については、一部支払いと現金の確認を行い、最終的な決算は文書で報告する。監査についてもその時点で行い、結果は文書で報告予定。

※議案の内容は、HP内拡大運営委員会議案書をご参照ください。

以上